

民生委員・児童委員

第20号



たが民児協だより

発行者 多賀町民生委員児童委員協議会
事務局 「ふれあいの郷」内 福祉保健課
TEL.0749-48-8115 有線2-2021
E-mail fukushi@town.taga.lg.jp



—いつもあなたのそばに・これからも地域のために—

昨年十二月一日の民生委員・児童委員の一斉改選により、多賀町では三十四名（内主任児童委員二名）が厚生労働大臣より委嘱を受け就任いたしました。今回の改選に伴い、長年地域福祉の向上に貢献されました土居正彦会長をはじめ十三名の方々が退任されました。ご退任いただいた皆様には任期中における活動に対しまして敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも地域福祉活動にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、私はこのたびの改選により会長に選出され、任期三年の重責を担うことになりました。委員としての経験・識見ともに力不足ではありますが、今日まで先輩委員方が築いて来られた民児協活動に学びながら、その職責を務めてまいりたいと考えています。

安心して暮らせる地域社会づくり 地域づくりをめざして


会長就任にあたって

多賀町民生委員・児童委員協議会
会長 小財 惣九郎

少子高齢化、核家族化が進み、家族関係や地域社会におけるつながりが薄れてきている中、さまざまな生活課題や福祉課題を抱える人々が増加しています。私たち民生委員・児童委員は、住民の皆さんの身近な相談相手として、各委員の担当地区において、子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた地域で、安全で安心して暮らせる地域づくりをめざしています。

また、当協議会におきましては、地域の実態や課題に応じた取り組みができるように、各種事業や研修の実施、情報の収集・提供、広報活動の充実、委員の資質向上や民児協組織の機能強化に取り組んでいます。

今後とも、行政機関・社会福祉協議会および関係福祉団体、ならびに町民皆様のご指導ご協力を、お願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



民生委員制度創設100周年「これからも地域のために」



民生委員制度は、大正6年に岡山県で誕生した「済世顧問制度」を始まりとします。翌大正7年には大阪府で「方面委員制度」が発足し、昭和3年には方面委員制度が全国に普及しました。戦後（昭和21年）、民生委員令の公布により名称が現在の「民生委員」に改められました。「済世顧問制度」が創設された大正6（1917）年から数えて100年を迎えることとなります。

民生委員が兼務している児童委員の制度も平成29年に制度創設70周年となります。民生委員・児童委員は、全国で約23万人が活動しています。

新任委員の一言

多賀担当 園田 宗良
退職するまでは三交代職場のため、会社と自宅の往復が日課で住民の方との面識が少なく、民生委員・児童委員を引き受けるにあたって心配でした。住民の方々と関わるなかで少しもお役に立てれば幸いです。微力ながら頑張りますのでよろしくお願いたします。

多賀担当 阪東 克美
私は、最近町内会の役員を務めてようやく地域と関わり始めたところです。このようなときに民生委員・児童委員の委嘱を受け、身が引き締まる思いです。これからは、民生委員・児童委員の信条理念に基づき、先輩方のように地域の社会福祉に貢献できるように活動していきたいと思っております。

尼子担当 高木 秀子
民生委員・児童委員をお引き受けして大変な重責を感じております。まだまだ戸惑いと不安で一杯です。住民の皆様との交流を深め、信頼を得るよう活動し、「心配り」「声かけ」で困り事や相談をお受けして行政への橋渡しになるよう努めて参ります。諸先輩方や地域の皆様のご指導よろしくお願いたします。

猿木担当 古川 良治
民生委員・児童委員をお受けして五カ月が過ぎ、大変重要な職務であり、課せられた使命の重さに身の引き締まる思いです。

関係機関、団体等、諸先輩の指導を仰ぎ、「受けとめること」そして「つなぐこと」、この役割を認識して、まず声をかけさせていただき、話しやすい関係を持つことから始めようと思っております。

一岡担当 赤田 聡
退職後、気儘な日々を過ごしていた私に突然の大役。戸惑いながらも受諾してしまいました。先輩の方々には遠く及ばないでしょうけれども、弛んだ気持ちを引き締め「奉仕の心」を胸に抱きつつ、区民の皆様のご協力のもと、努めていきたいと思っております。

久徳担当 夏原 和子
民生委員・児童委員の委嘱を受け5カ月となりました。新人の私にとって初めての事ばかりで、自分自身を見つめ直す良い機会となりました。高齢者の方とサロンでお会いして元気なお顔を拝見させていただくと幸せな気持ちでうれしくなります。区民の方とのふれあいを大切に皆様のお役に立ちたいと思っております。

富之尾・榑崎担当 古川 幸子
近年少子高齢化は進み、また、家族形態の変化等、民生委員・児童委員の役割は多岐に渡り重要になっていきます。今回その重責をお受けして、身の引き締まる思いです。皆様に信頼され、共に支え合える地域づくりのため、地域の皆様と関係機関とのパイプ役として、微力ながら努めさせていただきます。

一ノ瀬・仏ヶ後地区担当 小山 茂次
子どもの頃、棒きれを持ってよく野山を駆け回った。田畑で働く大人たちの姿を見ながら蒸し芋のおやつを食べる暗くなるまで遊んだ。その頃の大人たちもやがて老いを迎え友もまばらとなった。当時と変わらない空間と原風景のなか育ててくれたあの頃の大人たちへ、そして継承していく子どもたちには何かが出来れば？と思う。

大杉・樋田担当 田中 滝彦
地域の過疎化、少子高齢化が進む中、区長様をはじめ住民の皆様全体で取り組んでおられる「住みよい地域づくり」にお役に立てるよう、微力ですが情報収集、情報提供に努めたいと思っております。そのためにも日々のお声かけを大切にしたいと思っております。

小原・霜ヶ原担当 大矢 勝
私の担当地区は、もろに少子高齢化の流れを受けている山間地域にあります。このような地域の課題や実情の中で、福祉をいかに推進していくかが民生委員・児童委員としての大きな役割でもあり、その地域社会に応じ、住民の暮らしと福祉活動のあり方を創造しながら活動していきたいと思っております。

南後谷担当 前川 正美
高齢化の波が押し寄せてきている昨今、民生委員・児童委員がやるべきことは、多々ありますが、まず地域の皆さんと交流をとること

を一番に考えていきたいと思っております。とにかく、初めてなので日々勉強しながら頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。

大君ヶ畑担当 上田 せつ子
私たちの地域は、過疎化・高齢化が進み歯止めがかからない状態です。区長様はじめ皆様で、小字ならではの常日頃からのつながりを大切に、お互いに支えあい声をかけられています。皆様の協力を得ながら、声かけ、見守り訪問を行い、努力を重ね、自らの資質を高め、微力ながら思いやりのある地域づくりに役立てたいと思っております。

グリーンヒル多賀担当 大矢 顕治
グリーンヒル多賀が分譲され、一つの地区として自治会も発足しました。定住化政策や子育て支援をいただき、仕事・家庭・子育て地域が多く暮らす地区です。もたちの成長を見守っていききたいと思っております。

主任児童委員 小財 みつ子
就任後、幼稚園、保育園、小・中学校を訪問して、子どもたちの様子を拝見し、先生方のお話を伺いました。環境の違いや個性を持つ子供たちを目の前にして、責任と戸惑いを感じる中、研修やさまざまな活動を通して、職責に応えていけるよう努めてまいりたいと思っております。

多賀町の民生委員児童委員・主任児童委員を紹介します。

任期は平成29年
11月30日まで

 南後谷 前川 正美	 富之尾・梨ノ木・楢崎 古川 幸子	 一円 赤田 聡	 敏満寺 山口 勲	 多賀 園田 宗良
 大君ヶ畑 上田 せつ子	 萱原 久保田 里美	 中川原 野村 惣藏	 土田 曾我 勝博	 多賀 阪東 克美
 グリーンヒル多賀 大矢 顕治	 大杉・樋田 田中 滝彦	 木曾・脇ヶ畑 多賀 節子	 四手 植野 比登美	 多賀 大辻 美代子
 主任児童委員 小財 みつ子	 小原・霜ヶ原 大矢 勝	 河内・靈仙 菅森 時子	 大岡・八重練 馬場 勝子	 多賀 藤井 金一郎
 主任児童委員 富田 愛子	 佐目 東岸 良子	 屏風後谷・向ヶ倉・甲頭倉・ 杵谷・旗原 宮下 勇	 久徳 小財 良一	 多賀 宮下 進
組織(役員) 会長 小野村 惣九郎 副会長 東岸 良子 監事 藤井 金一郎 監事 山崎 清美 児童青少年部長 森 清美 高齢者福祉部長 植野 比登美 障がい者福祉部長 大辻 美代子	 川相 森 清美	 久徳 夏原 和子	 尼子 高木 秀子	 猿木 古川 良治
	 月之木 小財 惣九郎	 栗橋 山中 元子	 敏満寺 小菅 綾子	 小菅 綾子
	 小野村 惣九郎	 小菅 綾子	 小菅 綾子	 小菅 綾子

地域社会から児童虐待をなくしましょう！

町長の「あいさつ」

昨年十二月一日には、全国一斉に民生委員・児童委員、主任児童委員の改選が行われ、多賀町におきましても厚生労働大臣より三十二名の民生委員・児童委員、二名の主任児童委員の方々に委嘱状が伝達され、ご就任されました。皆様におかれましては、これから三年間地域の住民福祉の向上のためご尽力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、多賀町は高齢化率が県下一高く、高齢者が住み慣れた地域で安心して元気に暮らすことのできるまちづくりに努めています。

委員の皆様には、命のバトン事業への取り組み、福祉会・サロンへのご協力、そして声かけや見守り活動などを通して、お力添えをいただき、今後とも地域の皆様の身近な良き相談相手として、また地域と行政を結ぶパイプ役として、ご尽力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

多賀町長 久保久良

子どもの健やかな育ちのために

児童青少年部会

部長 植野 比登美

全民児連では、「進めよう！子育てを応援する地域づくり、支えよう！子どもたちの健やかな育ち」地域住民とともに「わがまちならでは」の活動を「基本方針」として、次の三つの重点目標を掲げています。

- ①子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込み防止に努めます。
- ②地域の子どもたちの見守り活動を進めるとともに、子どもたちにとって身近な「おとな」となります。
- ③児童虐待の早期発見・対応のため、幅広い関係者の連携・協議を推進します。

私たち委員は、子どもたちをめぐむ課題が多様化する中、地域に潜在する声を聴き、必要とされる支援につなぎ、地域の絆をより確かなものにし、子どもたちが希望をもって成長できる社会の実現に向け、活動していきます。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

高齢者が安心して暮らせる多賀に

高齢者福祉部会

部長 宮下 勇

先日、平均寿命が発表され寿命が延びたとの事です。延びた要因は、医療の進歩と健康寿命への取り組みの効果だと言われています。今後も寿命はまだまだ延びると言われており、高齢者に対してきめ細かな取り組みが求められます。

- ①各字で開催されているサロンを見学し、交流を深めます。
- ②災害時安否確認台帳の点検
- ③安否確認台帳に基づくマップの確認を行う。
- ④避難マニュアルの確認、各字の避難場所への誘導確認等。
- ⑤救急医療情報キット「命のバトン」の配布。ひとり暮らし高齢者や、昼間一人になる高齢者、緊急で救急搬送が必要になった場合等、いざという時に役立てられるよう必要と思われる住民に配布します。
- ⑥誕生日メッセージカードの活用。高齢者世帯訪問時、日々の生活状況を確認してまいります。
- ⑦振り込め詐欺、悪質訪問販売等の被害に合わないよう、チラシの配布呼びかけをしてまいります。

地域の皆様が安心・安全に暮らしていけるよう活動していきますのでご協力の程、よろしくお願いいたします。

だれもが集える地域

障がい者福祉部会

部長 大辻 美代子

ある研修会で、自立支援事業所へ訪問させていただいた時のことを思い出しています。

最初、知識不足のところもあり、どのように接したら良いのか、不安を抱えての訪問でした。事業所内のゆったりとした時間の流れ、私語は少なく、規則正しく、カリキュラムに添って黙々と行動しておられるのが印象的でした。また、利用者の方々は、仕事に就くことに向け、必要な知識や技能を習得するためパソコンの勉強や作業実習をされていました。

ご一緒させていただいて、みなさんへの気配りは大切ですが必要以上に意識することはないのでは、と思うようになりました。

そして、精神障害は周りからは見えにくく、理解されにくい部分があり、そのために多くの誤解や偏見が生まれているように感じ、一緒に活動したり、正しい知識を持つことで見方も変わっていくのではと考えるようになりました。私たち障がい者福祉部会では、いろいろな機会を通して、障がいのある方々との交流を深め、心のバリアフリーをめざして、笑顔で支援していくことができると、思っています。

どうぞ皆様ご協力の程お願いいたします。

広げよう 地域に根ざした 思いやり